

日蓮大聖人御書全集

ろくろろうじろろうどのごへんじ

六郎次郎殿御返事

新版
1814
ゝ
1815

ろくろろうじろうどのごへんじ
六郎次郎殿御返事

けんじ ねん がつ にち さい
建治 3 年 (77) 3 月 19 日 56 歳

は き い ろくろろうじろう じろうひようえ
波木井六郎次郎・次郎兵衛

はくまいさんと

あぶらひとつつ

た お

始

おんこころ

白米三斗・油一箒、給ひ畢わんぬ。いまにはじめぬ御心

もう

尽

そうろう

にちれん

よろこ

そうろう

ざし、申しつくしがたく候。日蓮が悦び候のみならず、

しやかぶつさだ

おんよろこ

そうろう

われ

すなわ

かんぎ

しよぶつ

釈迦仏定めて御悦び候らん。「我は則ち歡喜す。諸仏も

あす

さんみぼう

遣

またしかなり」は、これなり。明日、三位房をつかわすべ

そうろう

とき

いさいもう

そうろう

きようきようきんげん

く候。その時、委細申すべく候。恐々謹言。

けんじさんねんひのとうしさんがつじゅうくにち

にちれん

かおう

建治三年丁丑三月十九日

日蓮 花押

ろくろろうじろうどの

六郎次郎殿

じろうひょうえどの

次郎兵衛殿